

## 事例番号 05

Keywords: 中・軽度知的障害, 携帯電話, Web 掲示板, 現場実習, 高等部, 「学びの共同体」, 指導目標の達成

### (1) 携帯電話 Web サイトを活用した移行支援

### (2) 事例の対象となる児童生徒について

中・軽度知的障害のある高等部生徒

### (3) 使用する機器と特長

・携帯電話 Web 掲示板システム

本システムは、①卒業生・生徒がメッセージを送信するための携帯電話、②支援者が使用する掲示板管理用 PC、③携帯電話からのコメントデータの登録や、情報の発信を行うサーバからなるクライアントサーバ型のシステムである。滋賀大学教育学部附属教育実践総合センターケータイ Web サイトプロジェクトを利用した。

### (4) 使用した機器を選定した理由

平成 21 年 3 月、特別支援学校の新しい学習指導要領が告示された。今回の改定では、その重点項目として「自立と社会参加を推進するため、職業教育等を充実する」ことがあげられている。これまで、個別のニーズに応じた産業現場での実習期間は生徒同士の情報交換ができないことが課題であった。産業現場で友達が体験したこと、考えたことを共有の学びとするには、実習終了後の教室での報告まで待つ必要があった。そこで、現場実習中も生徒たちがお互いの学びを交換し、高め合える「学びの共同体」を構築した。

### (5) 選定のプロセス

対象者は本校高等部に在籍し、一般就労・就労移行を目指す生徒 10 名（1 年生男子 1 名女子 2 名、2 年生男子 3 名女子 1 名、3 年生男子 2 名女子 1 名）。および、本校の卒業生で一般企業に就労しており、かつ携帯電話を活用して Web 掲示板を閲覧・記入できる者 2 名の計 12 名。いずれも携帯電話やネットワークの活用について基礎的なスキルを身につけている。なお、生徒間の「学び」を支援するため、教員の書き込みはできるだけ少なくするように心がけた。

### (6) 個別の指導計画と個別の教育支援計画

利用者のうち在校生は、一般就労・就労移行等を目指し、年数回の個別の現場実習に出る。実習に出る期間は生徒によって様々で、学校での授業は時間割り通り進行し、適宜実習に出る生徒が抜けることになる。本校では個別の教育計画は「チャレンジプラン」と呼ばれ、データベースサーバ上に構築される。個別の指導計画と個別の教育支援計画、および個別の移行計画についてはそれぞれのフォームによって形成される。本実践については移行支援の項に記載される。現場実習で何を学んだか、また何が不十分であったかを検証する資料とするとともに、学級集団全体の学びの高まりをはかる手だてのひとつとする。

### (7) 指導の内容

携帯電話 Web 掲示板を利用して、現場実習を指導した。書き込まれた文章データを TRUSTIA/R2 でテキストマイニングした。2009 年 4 月 15 日より 11 月末までの書き込みは 544 メッセージで、1 年生 130、2 年生 164、3 年生 197、卒業生 28、教師 25 であった。総数は 3 年生が多いのに対して、1 メッセージあたりの語句数と文字数は 1 年生、2 年生が多い。これは個別の現場実習期間中の 3 年生のメッセージが業務内容を中心に端的に記述する傾向であると考えられる。学年ごとの文章中の品詞の割合に大きな差はない。使用された語をリストアップすることにより、携帯電話 Web 掲示板の話題を量的に検証することができた。掲示板で生徒たちは職業生活と学校生活に関する話題をくり返しあげ、「働くこと」「学校生活を送ること」について考えている。とりわけ、現場実習中の報告は、その時々には生徒が「がんばるべき」と考えたことが記されている。1 年生、2 年生、3 年生それぞれはその学習段階に応じた記述を

表 4-5-1 携帯電話 Web 掲示板の書き込み例

<p>[873:ペッパーの皆様👋] ○○○○ (11/19-17:56)</p> <p>今日のフットサルは試合したんですか❓教えて下さい💕今日は一日関空特急はるかの清掃をしました👷👷👷けど、踏み切りの遮断機が折れたりして、はるかが遅れが出たりして、あまり全部の清掃ができなかったです👷👷👷けど最後の最後でやっと定刻どおりに来てめっちゃ嬉しいかったです👷👷👷はるかの座席は自動で動くのでそのボタンを2回押しました💕ボタンは運転席にあるのではるかの運転席に入りました👷👷👷超～嬉しいかったです～👷👷👷車掌が使うマイクも使いました❗️後、はるかが出発する時、手を👋振りお見送りをしました👷👷👷楽しかったです👷👷👷後、最後に△△さんとはるかと一緒に記念写真を撮りました❗️一緒に頑張りました💕明日、皆に早く会いたいで～👷👷👷 でわでわオサラバダ～～～～👷👷👷3学期の実習も頑張ります🌟</p>	<p>※2年生徒</p>
<p>[872:◎◎さんへ] ●●●● (11/19-16:22)</p> <p>お疲れ様です。いよいよ最後の実習を頑張ってください。私は応援をしています。</p>	<p>※3年生徒</p>
<p>[871:▲▲さん◇◇さん▽▽さん◆◆さん]※3年生徒 ◎◎◎◎(11/19-16:11)</p> <p>今日は1日シーツのプレスかけをしました。そこでサイレンが鳴った時シーツ一枚かけました。11時からご飯を呼ばれました。交替勤務して12時に仕事をしました。今日は3時に終わりました。明日いよいよ実習最終日になりますみなさん応援してください！</p>	<p>※3年生徒</p>
<p>[870: ○○さんへ] □□です。(11/19-13:14)</p> <p>実習お疲れ様です。お仕事をとても頑張っていると聞いて、ホッとしたと同時に僕も負けていけない……と思いました。今日は基本の姿勢についての勉強や、計算の勉強をしました。はやく○○さんに会いたいです。</p>	<p>※2年生徒</p>
<p>[869:ペッパーの皆様] ◆◆◆◆(11/18-20:42)</p> <p>今日実習最終日でした。事務で社内メール便の仕分け、バーコード入力、文書発送準備をしました。月曜日は時間がかかりましたが昨日は早く出来ました。今日は昨日より早く出来ました👷👷👷10日間実習して色々勉強になりました👷👷👷 明日から久しぶりの学校です👷👷👷ワクワク👷👷👷</p>	<p>※3年生徒</p>
<p>[868:実習頑張ってる人] ●●●●(11/18-18:12)</p> <p>実習お疲れ様です。体の調子は大丈夫ですか？また明日の実習、頑張ってください。</p>	<p>※3年生徒</p>

※ ○○, ◎◎等はそれぞれ個人名を示す。

行っており、現場実習期間の長い3年生は「早い」「上手」といった語が多い。これは産業現場の実習で生徒が必要であると感じたコンピテンシー（行動特性）の一端と考えられる。これらのやりとりを通して、教科「職業」のねらいである「産業現場等における実習を通して、職業生活に必要な事柄を理解する」ための一助となったと考えられる。

### (8) 支援機器の使用効果あるいは、指導の効果と支援機器の評価

生徒の学びは「働くこと」を中心に生活全般に広がりが見られた。本携帯電話 Web 掲示板システムは高等部の教科「職業」、とりわけ現場実習を「共有の学び」として深め、生徒の学習を支援するツールとして有効である。

### (9) まとめと今後の課題

携帯電話 Web 掲示板を通して形成したネットワーク上の「学びの共同体」を支援するとともに、テキストマイニングの手法を用いてその有効性を検証した。使用される語を検証するテキストマイニングの手法により学年集団としての思考がどのように発展しているかを見いだすことができた。本携帯電話 Web 掲示板システムは知的障害のある高等部生徒の移行支援のツールとして有効であった。

## 本事例への付加情報

(以下は、研究協議会における本事例に関する質疑の内容である。活用事例を理解する上で注意が必要と思われた場合や、児童生徒の実態について補足が必要と思われたケースについて、実際の指導の様子を理解するために、基本的に録音した会議記録を書き起こしたものである。)

### 追加説明 1

携帯電話の Web サイトを活用した就労移行支援ということで、昨年卒業した卒業生と今現在在籍している高等部の生徒に、10名分は携帯電話をこちらから貸与し、あと、足りない分は生徒の保護者の理解を得て生徒の携帯電話を利用して参加していただいています。主に現場実習に出るときに、まあ1年生の2学期から出ますが、先輩からのアドバイスのようなこととか、「今日はこういうところに実習に行って、こういうことがありました。どうしたらいいでしょうか」という質問があると先輩からアドバイスがあるということで、スムーズな移行支援につないでいきたいというねらいで取り組んでいます。

ここに載せている資料は、TRUSTIAのtext miningによって分析した結果を載せていますが、書き込みにどのような何かが多く出てくるかというようなことで、どのような傾向があるかということ进行分析した事例を載せています。今後は実際に、どのような書き込みが就労移行のどのような教えにつながっていったのかというような個別の事例を分析するようなこともしなければと考えています。これも力を入れて取り組んでおります。

※ 本事例（特別支援教育教材ポータルサイト掲載事例）は、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所「特別支援学校におけるアシスティブ・テクノロジーの活用ケースブック－49例の活用事例を中心に学ぶ導入、個別の指導計画、そして評価の方法－」（2012/3）に記載された内容である。